

か み

議会だより

— CONTENTS —

- **19年度決算認定** 2～4
- 上下水道料金決まる 6
- 住民の声 届くか (12人が一般質問) 9～14
- この人 ここにあり 16



よいしょ!!
綱引きはしんどいよ～

(香住区 青葉保育園)

9月定例会
第15号

19年度決算を認定

9月定例会中に、決算特別委員会（岡田公男委員長他8名の委員で構成）において、一般会計及び11特別会計の審査を行いました。
 一般会計は120億6766万円、特別会計は103億7893万円、総額224億4659万円の規模です。その内一般会計は、4億874万円の黒字で、一部基金に繰り入れました。特別会計は、1億8789万円の赤字決算でした。
 定例会最終日に、決算特別委員長より委員会報告（いずれも原案認定）があり、採決の結果、一般会計は賛成多数、特別会計は全員賛成で、平成19年度決算を認定しました。

主要な施策

健康福祉部		総務部	
◆ 保育所運営支援事業	3,114万円	◆ 余部鉄橋架替関連事業	2,118万円
◆ 高齢者等生活支援事業	1,548万円	◆ 連合自治会費	2,465万円
◆ 児童手当	1億4,816万円	◆ 若者定住対策	479万円
◆ 社会福祉関連事業	8,609万円	◆ 町民バス等公共交通対策	5,998万円



産業部	
◆ 村岡有機センター増設	1億3,584万円
◆ 中山間直接支払い	7,849万円
◆ 松喰虫防除推進費	803万円
◆ 観光振興費	2,591万円



教育委員会		建設部	
◆ 多目的運動場整備(小代区)	5,940万円	◆ 町道山手若松線	1億5,800万円
◆ 子育て子育て支援事業	1,304万円	◆ 除雪費	1億564万円
◆ 社会教育施設整備	4,895万円		
◆ トライやるウィーク推進事業	235万円		



質疑

問 区制、地域協議会を、どう活かすか
答 地域協議会には、まちづくり計画や、各種計画について意見を聞く諮問機能的な役割と、それぞれの地域づくりなど、町政について自由に意見や、提言を行う役割があり、今後も、地域協議会の意見や提言を参考にしていきたいです。

問 て、地域づくりを進めていきます。
問 但馬空港利用促進費366万円、達成率55・5%となっているが、促進策は
答 町広報及びホームページなどでPRしています。また団体割引制度を設けて利用促進を図っています。

※県と但馬の自治体等は、東京直行使の実現を目指し、2010年度中に完成予定の羽田空港第四滑走路で、プロップ機の乗り入れが可能となる「ミニコミュニティ機枠」の割り当てを要望している。



但馬からの東京直行使が決定した場合、導入が予定されている72人乗り旅客機
 平成20年9月30日 但馬空港で撮影
 (写真提供:新日本海新聞社)



いずれも自慢の逸品です(香美町子牛品評会)

問 し尿処理費の工事請負費1千642万円の内
答 汚泥乾燥焼却設備、高分子自動溶解装置、脱臭送風機及び汚泥乾燥機の水洗冷却機の配管材の腐食が著しくその取替え修理工事費です。

問 町単独畜産振興対策事業補助金の1頭当たりの設定根拠は、またこの事業による増頭効果は
答 美方郡内及び豊岡市内産子牛の導入又は自家保留を行った者に対し補助金を交付します。前年の飼養頭数が30頭

未満で飼養頭数が増加もしくは維持された場合1頭当たり6万円、減頭になった場合は1頭当たり4万円、30頭以上飼養の場合は2万円とし、合計93頭が導入、保留された84万円を交付しました。

問 通学費補助の実績は
答 幼、小、中あわせて香住区15集落113人に143万3千円。村岡区30集落231人に920万円。小代区12集落46人に109万6千円。合計390人に対して1千172万9千円の補助を行いました。

賛成討論 小林利明議員
 19年度の決算を認定し、反省点があれば次年度の町政に反映させるとの観点から賛成する。

賛成討論 今西美憲議員
 町政は、財政難といつて住民をおどしているのではない。町民は自己責任を果たす、町は町政の立場で町をつくる。将来のすばらしい町づくりのために今、生みの苦しみをしている時である。

反対討論 山本賢司議員
 本町の18年度末の実質公債費比率は、28・8%、19年度は29・4%になると町民をおどし、各種補助金カット、社会教育施設の使用料の徴収など、町民に大きな負担をさせた。このような町政の決算には反対する。

企業会計決算を認定

6月定例会において提案された2企業会計（公立香住病院事業会計・上水道事業会計）は、病院会計を文教民生常任委員会へ、上水道会計を産業建設常任委員会へ審査が付託されましたが、7月の臨時会で委員長よりそれぞれ審査報告が行われ、採決の結果全員賛成で認定しました。

病院会計

本会議での質疑

問 未収金の中で診療報酬の個人の窓口負担750万円余りは長期に及んでいるもので、回収見込みは

答 未収金の内訳は、入院35件、外来22件の中で短期が15件、長期が42件あります。随時督促していますが、回収が進んでいない1年以上のものが680万円余り残っています。

委員会での質疑

問 内科の外来患者が減少しているが、どのような原因が考えられるか

答 最近3年間減少している中で、19年度は夏期に診療体制を一時縮小したこと、長期投薬、豊岡病院の改築による利便性の向上等、いろいろな要因があります。

本会議での質疑

問 有収水量（家庭、事業所で利用する水）の減少の要因は、人口減また節水であるとする企業会計の経営改善は、どのように図っていくか

答 まず上・下水道課を統合して職員を減員しました。維持管理費等、経費の削減に努めながら経営改善を図っていきたいと思っています。

こと、有収率はどうなっているか

答 境区から今子間で、有収率（88・67%）が悪いことは分かっているので、平成20年度の漏水調査を重点的に実施したいと思っています。また、境区から今子間は、平成25年度に配水管の整備を予定しています。

知恵袋

●有収率とは、事業所より送水した配水量と料金に換算された水量との比率

●比率%が低いと、漏水の可能性が高い



リハビリで元気に

契約案件一件のみ

塵芥収集車の購入

平成6年に購入した塵芥収集車が老朽化したため更新を行うものです。

1. 契約の目的
塵芥収集車購入
2. 契約の方法
8者による制限付一般競争入札
3. 契約の金額
890万9千250円
4. 契約の相手方
有限会社
タムラモーターズ
代表取締役 田村 勇

質疑

問 メーカー並びに車種を指定しての設定か

答 その通りです。形状・色彩等まで細かく指定しています。

問 後部に乗れる設定になっっているか

答 危険なので、後部に乗れる設計にはなっていない。

問 性能はどうか

答 前の車と同じ性能です。

全員賛成で可決しました



引退する収集車

補正予算

一般会計及び7特別会計の補正予算が上程され全員賛成で可決しました。

全ての補正予算が住民にとり、安全・安心、福祉の向上に直結する予算なので大いに議論しました。

一般会計

質疑

問 補正予算が再々出されるのがいかなものか

答 当初予算で大筋はつけているが、財政が厳しい折で、しほりすぎている面もあります。また、災害など緊急を要するものもあり、それに環境の変化に対応しなければならぬものもあるので、やむを得ない措置です。



飼料高騰で畜産農家 大打撃！

問 補正が大幅に増額になった要因は

答 交付税措置分が確定したことが大きな要因です。

問 漁業者には燃油高騰に対する手当をしているが、畜産農家にはどうか

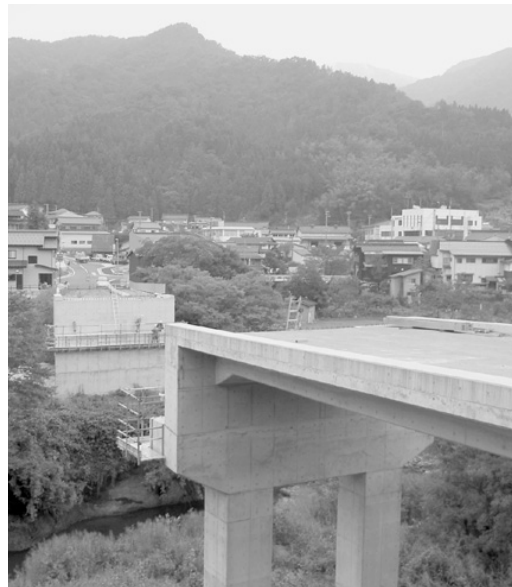
答 要望が出てくれば、タイムリーな対応を考えます。



機械で監視しています

町道野間谷線 改良工事

今回の橋を架ける工事で、改良工事は完了する運びとなります。今後は、スキー場、おじろん（温泉施設）など観光拠点を結ぶアクセス道路として期待されます。



完成まであと1歩の町道野間谷線

問 第一回の入札は、不調だったという原因は？
答 ▽鋼材等材料費の高騰▽橋げたが短いために型枠が再利用できない▽代表構成員を橋げたメーカーとしたため出張費等経費の増大が原因とと思われます。

問 工期内（来年3月25日）には完成できるのか？
答 雪が降るまでに橋げたの架設、けたをつなぐ作業は、降雪時でも可能です。道路の舗装は、3月に入ってから施工したいと思っています。

小代区 念願の公共工事業完了の運び



完成がまちどおしい体育館

小学校体育館 改築工事

問 現行と比較して広さ等はどうか？
答 学校の規模・児童数を考慮して、現行の8割程度です。給食センターとの間隔は、広めになります。

問 小学校体育館改築工事契約の相手方？
答 特別共同企業体4者による制限付一般競争入札
1億7千829万円
契約の相手方
株本・朝倉特別共同企業体代表者 株本建設工業(株) 香美営業所
所長 福田浩章
構成員(株)朝倉建設
代表取締役 朝倉富昭

第29回 臨時会

水道・下水道条例改正

議論 白熱 使用料金の値上げへ

一次改定
10月1日より

7月16日、臨時会が開かれ、水道・下水道料金の見直しに伴い、条例一部改正が提案されました。改正は、28年度までの旧町ごとの赤字を見込み、第一次・二次改正では不均一料金とし、第三次の平成26年7月に統一料金（別表）にしようとするものです。7月22日に審議され、議論が白熱しましたが、賛成多数で可決されました。

水道条例改正

浄水場の整備分は
じつなる

問 28年度までの赤字額、4億1千万円のうち香住区は3億9千500万円になるが利用料に現れていない。香住区の21年から浄水場12億7千万円の整備費はどうなる？
答 28年度までの赤字を想定して料金設定をしています。浄水場の整備分は改定料金には基本的に考えていません。浄水場の起債償還は他の償還が終わり料金の中で十分対応できる仕組みになっています。

下水道条例改正

料金改定の根拠は

問 村岡区・小代区の基本料金10㎡当り1千400円を香住区の1千800円に設定した根拠は。また、平均世帯の料金（下記別表）の根拠は？
答 料金改定は28年度までの各区ごとの赤字額を想定し、おおむね2割を使用料で負担をいただき8割を一般会計より繰入れることにしています。

野間谷線改良工事契約
▽契約の方法
9者による制限付一般競争入札
▽契約の金額
9千975万円
▽契約の相手方
(株)大一興業
代表取締役 井口 護

旧町の計画まで戻ってチェックか

問 旧町が計画を立て進めてきたことに対してチェックし、赤字になるから区ごとに料金を上げるのか、なぜ最初から統一できないか、対等合併ではなかったのか？
答 上下水道料金については余りにも差が大き過ぎるので、それぞれ差を少なくしてから一本化を図ると判断しました。

一体感の醸成に溝ができるのでは

問 早くから過疎債を使い進めた町、合併して過疎債で整備した町など取り組みの違いがあり、旧町の取り組みまで踏み込んだ不均一料金では一体感が溝ができる？
答 合併したら、料金制度は同一にするのが大原則です。現状や経過を踏まえれば、かえって住民間に問題が起こる可能性

(別表)

水道 平均世帯料金 (口径13mm 使用水量30㎡) 単位:円(税込み)				
区名	現行料金	1次料金 (改定率)	2次料金 (改定率)	3次料金 (改定率)
香住区	2,625	3,024 (15.2%)	3,286 (25.2%)	3,643 (38.8%)
村岡区	3,990	4,305 (7.9%)	4,305 (7.9%)	3,643 (-9.1%)
小代区	4,305	4,305	4,305	3,643 (-8.5%)

下水道 平均世帯料金 (使用水量30㎡) 単位:円(税込み)				
区名	現行料金	1次料金 (改定率)	2次料金 (改定率)	3次料金 (改定率)
香住区	5,880	6,048 (2.9%)	6,048 (2.9%)	6,867 (16.8%)
村岡区	5,985	6,867 (14.7%)	6,867 (14.7%)	6,867 (14.7%)
小代区	4,410	5,733 (30.0%)	6,048 (37.1%)	6,867 (55.7%)

反対討論 山本賢司議員
値上げを先送りするほど町の財政はよくなると言われるが、赤字決算を結ぶ状況ではない。いま厳しく、苦勞されている皆さんの生活を守るためにも歯止めをかけるために反対する。

問 26年度の統一料金までの各区の上乗せ分は1タールいくらになるのか？
答 改定増収額は、香住区で1億2千200万円、村岡区で8千400万円、小代区で6千800万円となり。一戸当り年間、香住区で4千300円、村岡区で4千600円、小代区で1万3千円となります。

燃油暴騰

漁業者を守れ!!

国に意見書・町も緊急支援

「漁に出られない」

切実な声 政府へ

世界的な原油価格の暴騰により、漁業で用いる燃油価格は、5年前の約3倍にまで達し、漁業者の経営を圧迫しています。そんな中、議会では7月の臨時会で内閣総理大臣ほか3大臣あてに緊急支援を求める意見書の提出を全員賛成で可決しました。また、8月に行われた臨時会では町の燃油高騰対策支援として補正予算を可決しました。

意見書(要旨)

本町は香住港、柴山港を有する日本海屈指の水産業のまちで、漁業は最も主要な産業の根幹を成すものであると同時に、水産加工業・観光業をはじめ、あらゆる産業において燃料高騰の影響は多大である。

本町漁業者は、地域の自助努力も限界を超えており漁業の存亡の危機に直面している。

政府においては、改めて下記事項について、有効な対策を緊急に講じられるよう強く求める。

記

1. 燃油価格への必要な補填措置
2. 税制、金融措置における抜本的対策
3. 国際原油市場への無秩序な投機資金流入の規制
4. 漁業用燃油の安定的供給確保

町の燃油高騰
緊急支援対策

1 漁業共済金支援

(予算額 609千円)

①当初予算の賦課掛金の20%支援にさらに5%を上乗せ

②対象は今年9月から翌年3月までの7か月分

2 漁業安定化資金の 利子補給支援

(予算額 584千円)

①燃油高騰により多大な影響を受けた漁業者が、「漁業安定化資金」を借りた場合に利子補給
②町の利子補給率は1%以内とし、利子補給期間は10年間

③融資利率は変動金利3・3%で、県信漁連も1%

%支援を行うので、漁業者は実質1・3%の低金利

④町の利子補給の対象資金総額として1億円を予定し、毎年度、必要金額を予算計上



停泊したままのイカ釣り漁船

町政を問う

9月定例会での一般質問は9月9日と10日に12名の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



恵まれた自然、山を活かせ



未接続に苦慮しています(妙案は)

まちづくりを進めるには産業振興による地域の活性化を図ることが必要



岡田 公男 議員

観光産業の振興は

山の四季型観光に力を入れます

であり、観光産業はその先導的役割を担っている。山と海の観光施策、産業振興をどう評価しているのか、現行でよいと考えているのか。山の観光地の実情をどのように認識されているのか、山を活かした四季型観光を具体的にどのように進めるか。

支援策を講じる考えはないか伺う
町長 各産業の振興と観光で相乗効果を上げる一体的な地域振興を図っていくことが必要です。観光振興が各産業の振興に直接関係が深くなりま

す。香美町しかない魅力を強調して観光対策を進める必要があると考えています。宿泊を伴う観光をどう組み立てるかが課題です。山の祭典など、山の四季型観光については一層、力を入れて取り組めます。また除雪など町と八千北高原自然協会とが分担できることは基本的スタンスの中で取り組みます。



寺川 秀志 議員

下水道未接続には 協力金を頂いては 協力金を頂くことは 困難です

住民の下水道本管への未接続については、担当課で対策を講じていてやや好転が見られるが、一般的には好転していないと認識している。このまま推移すると、下水道会

計が厳しくなり、本会計への影響を懸念する。財政不安をなくすために、また、先に接続した方が不公平にならないために、公共マスを設置しながら、本管への接続がまだの方に、協力金の名目で基本料金を頂いてはどうか町長の所見を伺う

頂くことは、一つの方法であります。今回、検討課題として考える中で、但馬では旧八鹿町、旧養父町でそのような方法を取っていましたが、合併とともにやめたという経過があります。また、国や県からも指導も受けていて、できない状況でありますので、町が取り組みとして行うには問題があり、困難であると判断しました。



早く売りたい！

山手土地区画整理事業は、事業の進捗に伴い保留地の売却も始まっているが、思うにまかせないのが現状である。組合の事業であることは認識しているが、このままでは



浜上 勇人 議員

山手に積極的に関与を！ 町と組合は運命共同体です

最悪の場合、事業の破綻も予想される。今以上に町と組合が緊密な連携のもとに事業の完結に向けて対処すべきである。町として保留地の売却も含め、積極的に関与すべきではないか

町長 町も現在までの資金投入の状況、財政状況等を考えますと、これ以上の取り組みはなかなか難しい現状です。組合

員自らが身を削って取り組んでいただくことを強くお願いしています。役員の方々と具体的な問題について方向を出す協議を強化していきます。この問題は、私は組合と町とは運命共同体ではないかと思っています。この事業がうまくいかないようなことが起きたとき、町も大変な影響を受けることは必至です。一つずつ進めていく努力をします。



安全運転を心がけています



上田 勝幸 議員

①町の保有する公用車による事故が毎回議会に報告される。物損事故で、

人身事故はないものの、せち辛い世の中、町民は職員の一挙手一投足にも目を注いでいる。事故を減らす、またなくする方法、工夫をどのように考えているのか。
②自家用自動車協会で、毎年チャレンジ100を開催し、役場でも、課ご

公用車による事故を減らす工夫は さらに指導を徹底していきます

とに数チーム参加し、無事故無違反を達成している。役場でも内規で、表彰規定をつくってはどうか

町長 ①役場の中に、安全運転管理者を置き、職場での指導の徹底を図っています。更には年に

一度、警察の交通課長を招いて指導の徹底を促しています。
②町民の信頼を得るため、全職員で取り組みねばならないので、役場の中で、賞品は出さなくても、賞状を出すという格好で、事故の未然防止運動を行う取り組みをします。



健やかに育て 香美っ子

今年6月学校給食法が改正され、目標を「食生活の改善」から「食に関



川端 政明 議員

改正給食法を生かせ！値上げ回避を 来年度 香住の給食費は見直します

する指導と食育の推進」へ転換し、また、「地域の産物を学校給食に活用すること」も明記された。(1)地元食材の利用に今まで以上の取り組みをすべしと考えるがどうか。(2)物価高で多くの自治体が給食費の値上げをした。り検討を予定していると

聞く。値上げは回避すべしと思うがどうか
【教育長】 (1)法改正以前から3給食センターで地産地消の取り組みを進めています。米は100%地元産コシヒカリ。魚、肉、果物、調味料も町内産を使う努力をしています。

(2)香住区では小学校210円、中学校240円で。17年間値上げせずになりました。安く、おいしい、栄養価の摂取量を確保する給食の提供をと努めてきました。
しかし、見直しを検討しなければならぬ現状です。今後、学校給食運営委員会が研究、PTAとも協議していきます。



円滑な下水道接続の推進を



小林 利明 議員

下水道処理整備区域で本管の敷設を一部住民に負担させている件数が51件ある。その余分な負担額は見積書添付の36件で見ると平均50万4千円にもなる。

また、敷地内に枀を設置する約束不履行の件数も28件あり、その負担は僅かというが、見積書添付の2件の平均は1万7千円強になる。
円滑な接続推進、健全な事業運営の観点からも不公平で不適切な対応を改める考えはないか
【町長】 基本的に国の補助金、起債対象となる当初の整備計画以降の個別

の整備は、新たに必要が生じた方々に負担していただきます。
また、枀の設置についても計画に沿って町の責任で行う工事の後の工事費用は当事者に負担いただく扱いをしています。
一般的な認識とは違う部分がありますが、町の方針を変えて信頼を得るのではなく、考え方を含めてご理解をいただけるよう説明努力します。

**不公平な対応を改める考えはないか
方針は変えれないが説明努力します**



売り出し中の町有地（旧村岡病院跡地）

行財政改革大綱を策定され、20年度までの3年間を集中期間と位置づけ



長瀬 幸夫 議員

行財政改革の検証と見通しは 計画はほぼ達成しつつあります

改革を取り組んだが達成度は、とくにまちづくりで見えてきたものは何か、また反省点はあるのか。21年度から22年度の改革はどのように取り組むのか。特に行政の組織改革と財源の収支、庁舎内部の意識改革や経費削減と改善などの取り組み、

住民の視点に立ったサービスの向上はどのような取り組みを考えているか

町長 合併直後から実質公債費比率が28・8%と大きなショックでのスタート。毎年収支の均衡を図るため建設事業を抑え、職員数減や給与・報

酬等人件費の縮減、財産の売却、施設の使用料等財源確保のために負担増もお願しい計画をほぼ達成しつつあります。今後21〜24年度位まで1〜2億円の範囲で収支不足が見込まれ、本庁と地域局の内部事務は一元化等の改善、経費の節減をしながら町民と一体となった町づくりをします。



この施設の将来は？



西坂 秀美 議員

障害者自立支援法への対応は 22年度からは新体制で取り組みます

障害者自立支援法の施行や兵庫県行財政改革の推進により関係者を取り巻く状況はめまぐるしく変化している。補助金等の運営から給付費による経営へ移行しないといけ

ない。社協では安定した収入確保が難しく経営が不安定なので、町行政や関係者と経営主体の変更も視野に入れて協議を進めている。

社協との関わり、対応、町補助そして自立支援法への移行をどのように考えるのか

町長 社協は今後の補助金の動向や利用者へのサービスの質と量や今後

の方向性等、検討された結果、社協が独自で行うことには、かなり問題が生じます。町として他の団体も視野に入れ総合的な検討を進めています。

新たに自立支援法に基づき国や県の支援があり町の負担が少なくなることとなります。できるだけ早く自立支援法に基づき新たな対応を進めていき、22年度からは新しい体制で取り組みます。



この大自然を多くの方々に（蘇武ヶ岳より望む鉢伏山）



町の活力回復を待つ建設機械

大自然の四季を住民の知恵で 財政にひびかぬよう県と協議します



山本 賢司 議員

県行革二次案に、兎和野野外教育センターの管理を地元町へ、と示され

ている。本町は三方を1千メートル級の山に囲まれており、四季を通じた豊かな自然がある。従来、センターは県立ということもあり、住民にとつて少し遠い存在に思えた。町として、管理を受け、住民の知恵と力で、現在の民間の努力による資源

などとのルート化、また、センター利用の世代的広がりなども見据えて、大自然の四季を活用する方向づけを

町長 9月4日に県から話があり、木の殿堂と合わせて、年間9万8千人の利用、宿泊が25%程

とされ、1億1千400万円の管理料が出されている、と伺っています。財政難だから、と県がもつと財政難の町に負担をさせるのは筋違い、親心なら、と話しています。資源の活用は必要と考え、ており町財政を考えた管理料をいただくというところで、協議を進めています。

不況克服に公的支援で雇用の場を 財政健全化が最重点課題です



白岩安喜夫 議員

燃料高騰で始まった物価上昇。行政では財政健全化で税、使用料、補助金等の見直し、町民の生活は極端に苦しさを増している。かつては不況回復には行政の支援があり、

建設事業等は前倒発注など雇用対策が行われた。だが今回は不況と行政の財政健全化が同時進行であり、失業者が増加し若者は職を求めて町外へ転出、町は衰退の一途をたどっている。今こそ投資的予算の増額による町の活力回復を強く求める

町長 急激に景気が低迷してまいりました。特に国県の建設事業は総量

が極端に減り、私も危機的意識を持っています。本町の実質公債費比率は27・4%であり財政運営上、25%を切る事が大前提であり至上命題であります。

町財政の建て直しを最重点課題としながら当面急を要する学校の耐震対応、緊急な道路整備の取り組み、また国の景気対策に期待し財政の許す範囲で最大限、努力します。



また やられた!



見直される有機肥料

野猿被害防止対策を更に充実せよ 猿を上回る知恵で効果を上げます



古岡 菊雄 議員

野猿対策については、何度となく質問、また提言してきた。いろいろな

対策を講じているが、野猿被害は余り減ってはいない。地産地消などの提唱はあるが、長板地区を含め小代区では野菜も果物も生産するところではない。また家庭菜園も栽培できなくて困り果てている。今、どのような野猿被害対策を実施してい

るか。きめ細かな対策を駆使して、更なる被害防止に努めるべきと思うが町長の所見を問う

防止特別措置法に基づき、対策会議を設置し、現在猟友会の協力を得て、銃器による捕獲と追跡調査、檻を増やしての捕獲、猿ポイ犬を活用した対応、更にバッファゾーンを整備して人家に近づけない方策等を実施しています。猿の知恵を上回る知恵を出して効果を上げていきます。

農畜産業の支援は万全か どのように支援できるか協議します



吉田 増夫 議員

石油、肥料、飼料等の高騰により、農畜産農家は危機感を感じている。国として農畜産業への支援を打ち出しているが本町の現状では、国策に該当するところが少なく思

える。本町の農畜産業の振興をはかるために、町としての支援が必要と思うが町長の考えを問う

町長 生産性の低い本町の農業の将来について、危惧すべき問題であり、肥料については堆肥の活用もJA等と協議し進めていきます。地域の農業を守り放棄地を少なくするため中古農機の購入時に利子の補助も考え、農

業に従事する人たちが取り組みやすいように前向きに考えていきます。畜産については、飼料の高騰により経費増が生じており、先日、畜産農家の役員の方と話し合いをした所であり、具体的な方向の結論は出ていません。農家の今後の対応の中で町がどの部分を支援していくか、協議を続けていくこととしています。

年商40億円の地場産業

農業と観光の連携

産業建設常任委員会

委員長 吉田 増夫
視察先 三重県伊賀市

農事組合法人伊賀の里
『モクモク手づくりファーム』

行政視察

今年度の産業建設常任委員会の行政視察の目的は『農業と観光振興について』を主としています。そこで委員会では農業の体験実習を通じて多くの観光客が年々増加しているモクモク手づくりファームを視察しました。



熱心に説明を受ける委員

養豚農家を

中心に設立

昭和58年8月に東海地区で最初のおいしさ、安心、新鮮と三拍子揃った銘柄豚「伊賀豚」が誕生し、その後、養豚農家19名を中心に農事組合法人伊賀銘柄豚振興組合を設立し、豚を原料としたハム工房をつくったのがはじまりのことです。

年商40億円の 地場産業に成長

現在では、年間50万人以上の方々が訪れ、職員はパートの方を含め250人、年間売り上げ約40億円となり大きな成果が上がっています。

20年間、地ビール工房、酪農、パン、菓子、米づくり、しいたけ、ハム精肉、農作物の直売所等の事業をされ、特産物をいかした組織と感じました。消費者の皆さんに農業体験をして頂きながら農業振興を通じて地域の活性化につながる事業を、また、おいしさと安心の両立をテーマにしたものづくりを行なっています。

環境にやさしい

取り組み

できるかぎり環境にやさしく力を入れておられ、ゴミを減らすためには

- ①自動販売機を設置していません
- ②紙皿、紙コップ、割り箸は使いません
- ③木札の再利用
- ④たい肥づくりはレストランの生ゴミ、牧場から出る動物の糞を利用し、できた堆肥は農業生産部の野菜づくりに使われています。

まとめ

この行政視察を通じてわが町香美町にこのようなことができるのかです



活発に質疑応答が交わされました

が、このモクモク手づくりファームにおいても当初は様々な討論・議論が交わされたものだと思いますが19名が一つのころになって前に進んだものと感じました。わが町にも素材はあるように思います。農業を別の観点から見ることが必要かと思いましたが、視察研修ができました。

この人にもあり

(香住区)



黒崎 勇 一氏

今回は、訓谷区で訓谷若手会のリーダーとして、民宿経営のかたわら地域起こしに頑張っておられる、黒崎勇一さんにお話しをお伺いしました。

会の目的、日常活動はどのようにされていますか

地元の先人が残された三番叟や盆踊りを保存・継承する目的で活動しながら、訓谷区・佐津地区の行事(運動会、文化祭等)に協力して、地域との関わりを深めています。

会の運営をしたり活動をやる中で苦労とか悩みがありましたら

集会、行事をお手伝いする中であって、地元の青年層の就職による都会への流出で若者、それに付随して子どもの減少で人集めには大変苦労しています。

今後の活動に何か考えがありましたら

これからも地元の先人が苦労して残された文化遺産を保存・継承することを第一に考えながら、地区の発展を願っています。

また、地域に根ざした信頼される訓谷若手会として活動したいと思っています。

訓谷若手会の歩み

昭和59年、三番叟などの伝統文化の継承を目的として、それまでの民芸保存会に替わり、団員の減少で活動が難しくなってきた青年団に、50歳までの壮年を加えた形で発足しました。

訓谷若手会は、本年度で結成24年目となりますが、発足からずっと秋祭りの村芝居を続けてきており、地域の皆さんは毎年楽しみにされています。

また、5年前から、訓谷区の行事である香住区民祭に一部の会員さんも合流して、戦争をテーマにした演劇にも参加していただいています。

その他にも、いろいろと地域行事の中心を担っていただいております、ありがたく、頼もしく思っています。

訓谷区長 寺川 喜久男氏談



秋祭りで、村芝居を熱演中の訓谷若手会の皆さん

苦労が報われたこと

思うことは

いろいろな行事がある中で事前の準備の甲斐あつて、行事が無事終わったときは、苦労が報われたと言うか、ホッとします。

行政、議会に対して何かありましたら

観光事業の活性化策を講じていただきたいです、最近この付近で盗難事件等が起っていますので、防犯についても支援をお願いいたします。

訓谷若手会は

どのような方々で構成されていますか
また会長の任期は

20代から50代までの訓谷区民の青壮年で、現在は45人が在籍しています。職業は民宿経営者、公務員、自営業の方など多彩です。また会長の任期は2年です。(今年2年目)

会費、運営費などは

どのようにされていますか

年会費として1000円徴収しています。その他、花代をいただいています。



編集後記

祭りだ。スポーツだ。取り入れだ。山も海も行事が目白押し。秋は、ことのほか繁忙を極める。どこからともなく人々が集い、ある事を成就する。そんな光景が処々で見られ、活気と賑わいが町全体を覆うように感じられるこの季節ほんとうに清々しい。

一方、世の中は残忍また悲惨な出来事も後を絶たない。家族の絆の希薄さ、欠如に起因すること大であると思う。

田舎の良さは、互いを信頼し認めあう家族の絆がしっかり根づいていたことだと思ふ。今一度、実りの秋に再認識したいものです。(N)

編集発行責任者

議長 森 利秋

議会広報特別委員会

委員長 長瀬 幸夫
副委員長 上田 勝幸
委員 西川 誠一
古岡 秀志
寺川 菊雄
西村 伸一
吉田 範明